

BDメディアへのデータ書き込み方法

[まず始めに]

本GUIソフトウェア (DRGUI) を用いて、BDメディアへデータ記録を行いたい方へ、以下の注意点をご確認の上、適切なディスク、作業方法等を選択してください。
(以下は、2018年7月時点の情報です)

- 1、本GUIソフトでは、BD-R dディスクだけでなく、BD-REディスクにも記録可能ですが、
以下の理由から、本ソフトを利用したBD-REディスクへの書き込みは推奨いたしません。

- ・本ソフトでは、BD-RE ディスクへのデータ書き込みに非常に時間がかかります。
※5GB程度のデータの書き込みに1時間以上かかります。
- ・本ソフトでは、BD-RE ディスクへの「追記」が出来ません(「書き換え」は可能です)。
※ 記録済みBD-REディスクを利用した場合、一旦、既存のデータを削除してから、新しいデータを書き込みます。

よって、BD-REディスクについては、ユーザーズガイドに記載されている、olx系コマンドを利用して、データの書き込み・追記・削除等を行うことを推奨いたします。

- 2、本ソフトは、書き込みたいデータ(ディレクトリ)を一旦イメージファイルにしてから、ディスクへ書き込む仕様になっています。
ただし、本ソフトでは /lfs* 領域(NFS領域)上では、正常にイメージファイルを作成することができません。また/home* 領域では、quota 設定のために十分な容量が確保できず、イメージファイルを作成できない場合があります。

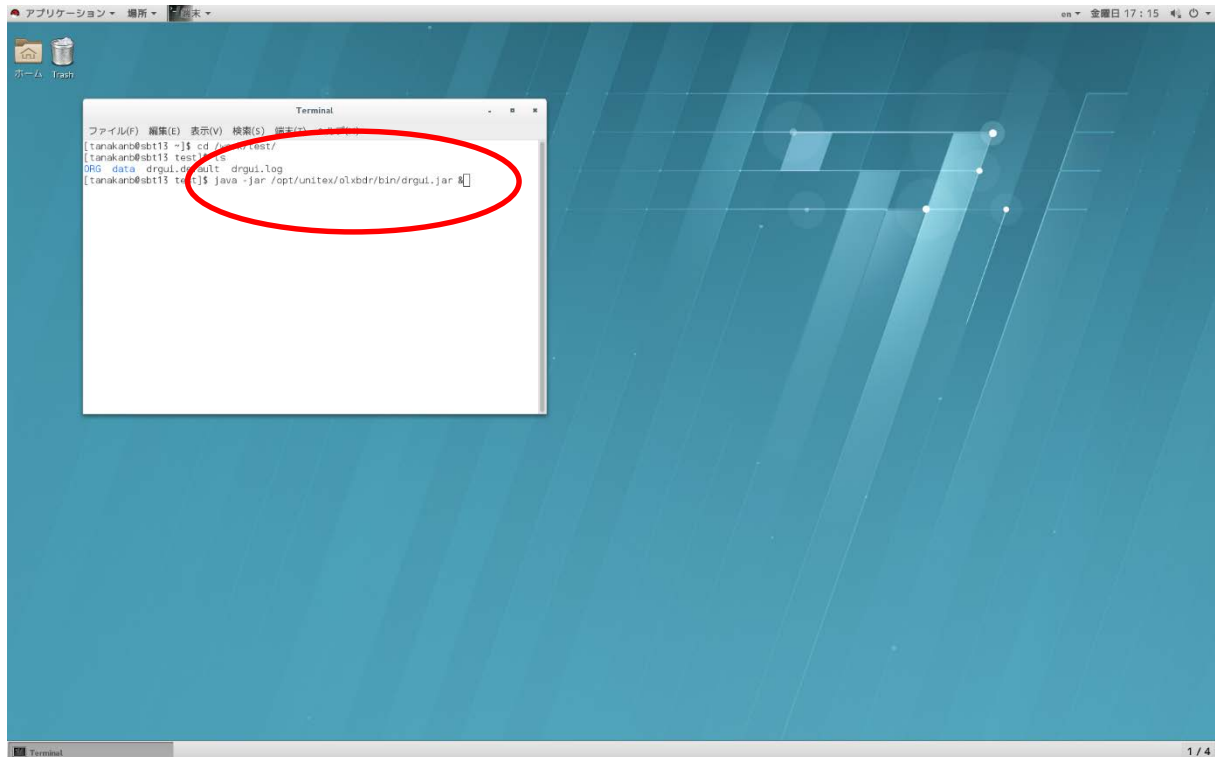
よって、端末ワークステーションのローカル領域である /work 領域下にて、作業を行うことを推奨いたします。また、ソフトの起動も /work 領域下で実行することも推奨いたします。

- 3、本ソフトでは、空き領域のある記録済みBD-Rディスクに対しても追記はできない仕様になっています。ご注意ください。

上記を踏まえた上で、次ページからの使用方法をご参照ください。

BDメディアへのデータ書き込み方法

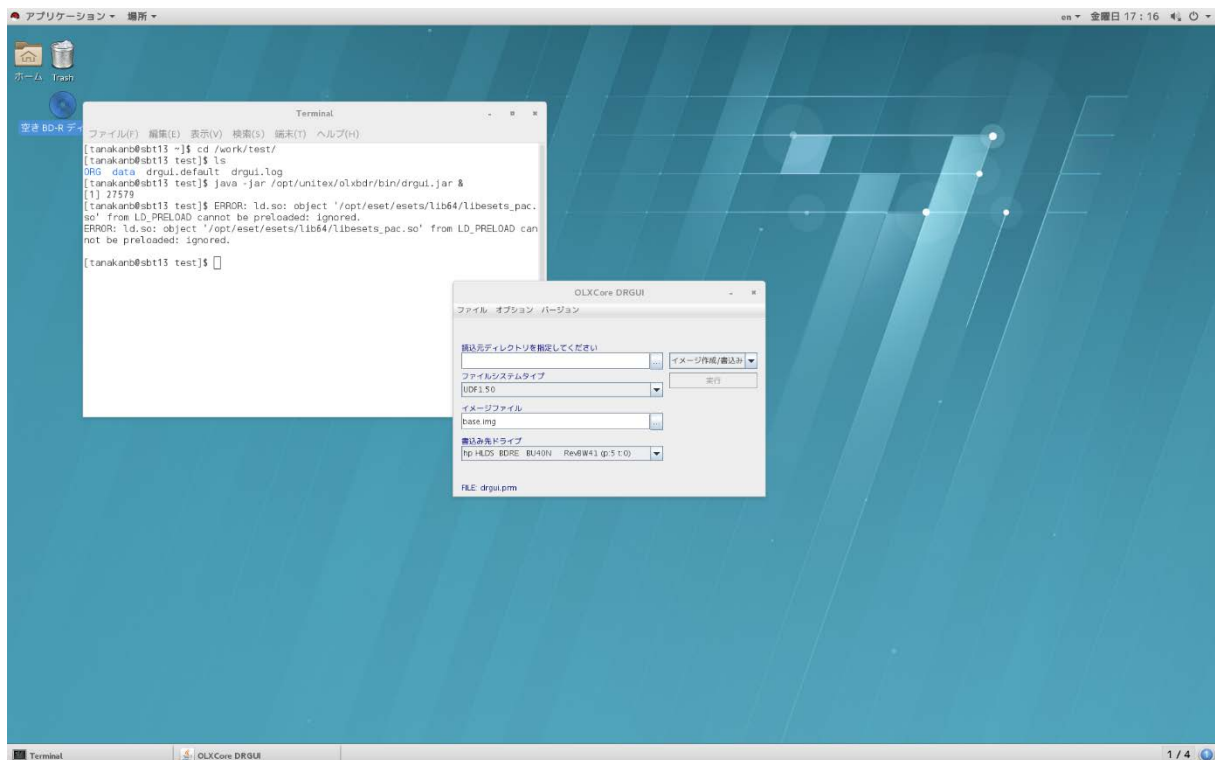
- 1、空のBD-R/RE 等を「sb13接続の外付けBDドライブ」に挿入します。ターミナルを開いて、「java -jar /opt/unitex/olxbdr/bin/drgui.jar &」と入力して、GUIソフトを起動します。
(注意:フルパスを入力しないと起動しませんので、ご注意ください)



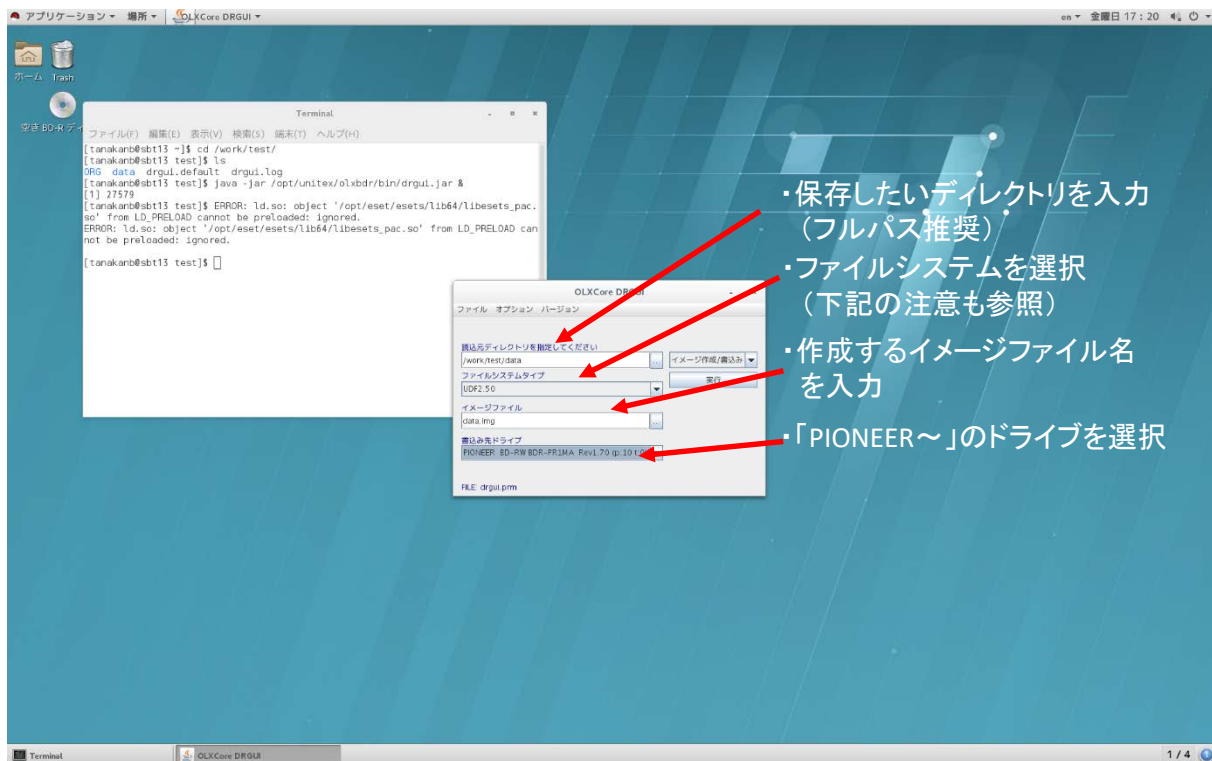
注意:

- ・保存したいデータがあるディレクトリに移動した後に、ソフトを起動することを推奨します。

- 2、以下のようなウィンドウが起動します(起動時のメッセージは無視して構いません)



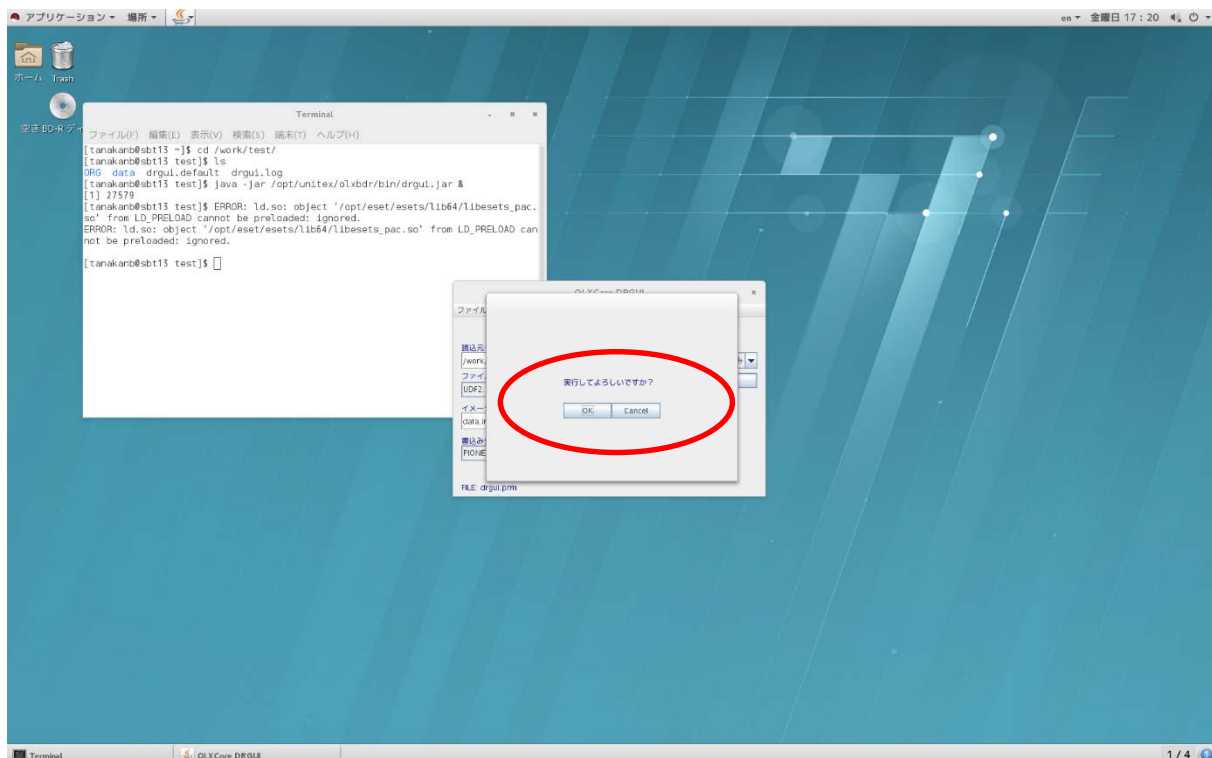
3、各項目について、以下のように設定します。



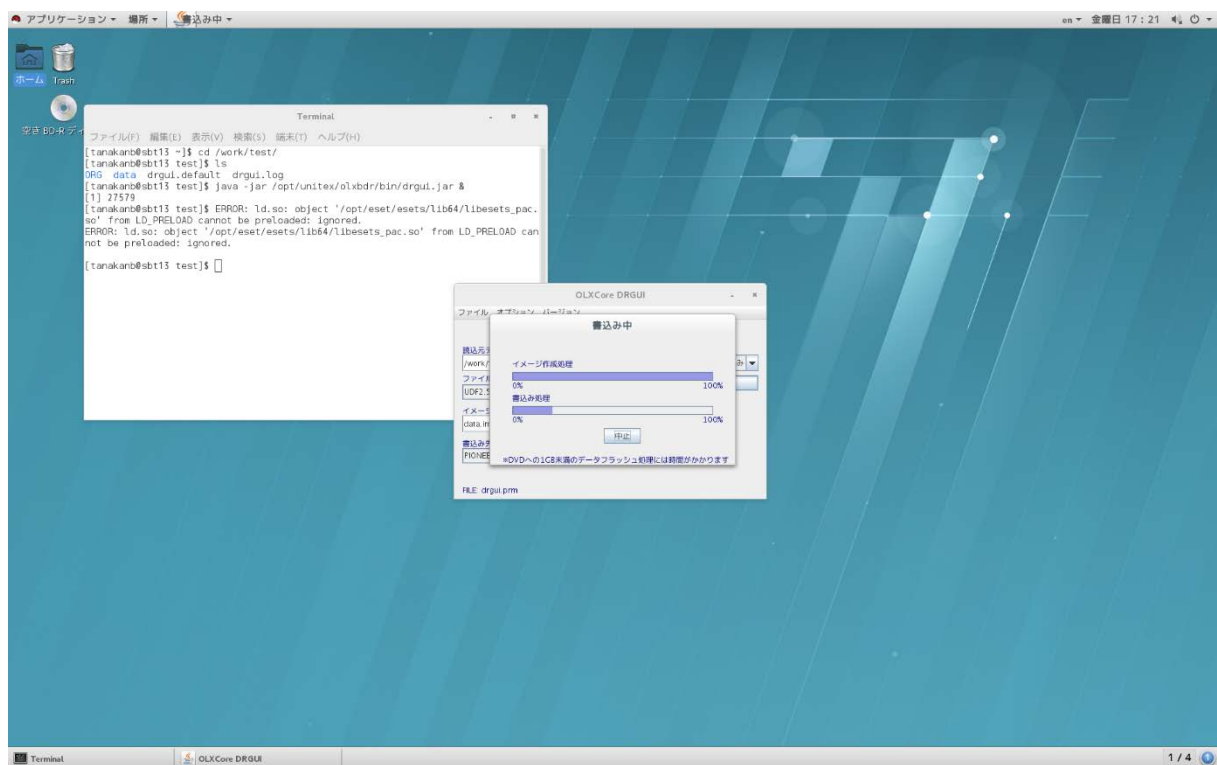
[注: ファイルシステムについて]

- イメージファイルのファイル形式を指定する必要があります。一般的にUDF1.50形式は多くのOSに対応していますが、8.5GBが最大サイズになります。それ以上の容量のイメージファイルを作成したい（データを書き込みたい）場合は、UDF2.50形式を選択してください。UDF2.50形式では、最大100GBのイメージファイルを作成できます（が、比較的新しい形式なので、一部OSでは対応していないかもしれません）

4、「実行してよろしいですか」と表示されるので、「OK」をクリック



5、以下のような画面になり、イメージファイルの作成および、データの書き込みが開始されます。
※BD-R (6倍速) ディスクを使用した場合、約 5GB のデータを5分程で書き込むことができます。



6、書き込みが終了した時は、以下のようなウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックして完了です。

